



Kyohei Goto

後藤 恭平
ゴトウ キョウヘイ

役職：議会運営委員会副委員長・文教市民委員会委員
市民病院の在り方特別委員会委員
企業決算審査特別委員会委員

ごあいさつ

初定例会、初質問を終えたのに気分は複雑です。私は、吹田新選会の代表質問(45分)を任せられ、個人の想いも織り交ぜながら吹田市政や市長に真っ向から質問をしました。自分の職責を果たし、色々な経験をしたという意味ではやり甲斐を感じるのですが、「非常事態宣言」をされている市長が掲げる選挙公約や政策に、市長自身が本気で取り組む覚悟があるのかどうかという点で、市長の思いのこもった答弁がもらえず、残念な思いが残りました。私たちの質問への肩透かし、指摘した問題点も検討するといった形式的な答弁。前向きな抽象的単語を並べ、公約や政策はできる範囲でしか考えず、人任せで無理をしない。そのような印象に終始しました。

今の吹田市政は私から見れば「市民サービ

ス」ではなく、「職員サービス」や「市長後援会サービス」が中心ではないかと感じます。本当の「市民サービス」に舵を切らなくては、「非常事態」はいつまでたっても解消されません。私は今回の定例会を通じて、市長も職員も議員もみんな同じ方向を向いて、あらゆる政策の最善の方法を模索できるような体制にしなくてはいけないと強く感じました。同時に、吹田市議会議員として吹田市政を間近で見ることができ、以前から持っていた危機感を実際に肌で感じられるようになったことに、市議会議員になった充実感を感じています。戦いながらも真っ直ぐに信念を貫いて、吹田の将来のために、自分の体を使っていききたいと本気で思う心を持つことが、市民の皆さまの期待に添える第一歩なのだと思います。

<http://www.goto-kyohei.net>

【連絡先】吹田市西の庄町2-28

ごとうキョウヘイ事務所

TEL：06-6380-8802 FAX：06-6310-8919

Mail：info@goto-kyohei.net

足立 将一
アダチ ノブカツ

役職：財政総務委員会委員
都市環境防災対策特別委員会副委員長
議会改革特別委員会委員

ごあいさつ

議員となって初めての定例会、そして初めての議会質問です。質問の冒頭に政治への想いを話させていただき、自分の政治家としての志を議事録に残させていただきました。私のHPにも議事録を載せておりますのでぜひ一度ご覧ください。

今回の質問の中心は、吹田の財政問題、特に大きな負担となってくる公共施設の管理についてです。吹田には400を超える公共施設があり、高度成長期に建てられたものが多いため一気に寿命がやってきます。しかし現段階では建替え計画や修繕計画は立てられておらず縦割りの管理で場当たり的な対策に終始していました。もう間もなく、確実にやってくる大きな負担に目を向け、先送りせずに今の段

階で対策を打つことで、子供達にツケを回さない。そういう思いで質問しました。

財政総務委員会では市長、副市長を含む特別職の給料、期末手当、退職金について議論されました。様々な議員の考えがある中で自分の意見を通していく難しさを実感するとともに、吹田新選会に所属し先輩議員がいる中で活動できるメリットを大きく感じました。

私達は今5人で活動していますが、様々な知識、経験を持たれた方ばかりでいろんな角度から物を見ておられ25歳の私にはとても勉強になります。恵まれた環境にいることに感謝し、自分の能力を精一杯磨いて市民の皆さんへ貢献できるような努力を続けていきます。

<http://www.nobu8.jp>

【連絡先】吹田市南金田1-4-11-106

足立ノブカツ事務所

TEL：06-6339-6839 FAX：06-6339-6869

Mail：nobukatsu.adachi@gmail.com



Nobukatsu Adachi

profile

1985年、大阪市福島区生まれ。大阪桐蔭中学／高等学校・神戸大学法学部卒・不動産会社勤務。大学卒業直前に神谷宗幣議員・石川前議員と出会うことで政治へのあきらめが払拭され、地方政治から日本の政治が変わると実感する。吹田から日本の政治改革を目指し、25歳で出馬し初当選。

吹田新選会通信

Vol.18
2011.08



吹田新選会一同より ごあいさつ

今回の定例議会のポイントは、「大阪維新の会」の後押しを受けた井上新市長が、施政方針でどのような内容を示し、本当に橋下知事並の改革を行うつもりがあるのかどうかを量ることでした。注目の市長の施政方針では、選挙公約で掲げた3つ「維新」についてのみ淡々と触れられただけで、市長の政治にかけける情熱のようなものは一切伝わってこず、議会が拍子抜けした感じでした。

新選会としては、今後の市長と維新の会との連携や、行政改革を行うにあたって職員をどうまとめていくかといった市長の手腕、新選会が力を入れてきた教育政策に関してどれだけの想いをもって取り組んで下さるか、といった点に力点をおいて質問をしました。答弁は要約のとおり。現時点では期待はずれといった評価です。

今後、市長に対して危惧するのは、堺市長の例にあるように、維新の会の人気で選挙に通った人たちが、本当に橋下知事の理念や政策を踏襲し、骨太の改革ができるのか

どうか、といった点です。選挙の時だけ人気のあるカリスマに擦り寄って、終われば後は適当にパフォーマンスをするといったことでは、それは有権者を愚弄すること以外のなにものでもありません。

そこをチェックするのが我々議会の構成員の仕事ですが、自民党議員団などはすでに議場で「市長与党」を宣言しました。今は、まだ少数ですが、過半数の議員が市長と何らかの約束を交わし、「市長与党」を自認するようになると、議会のチェック機能はほぼなくなります。そうなれば、職員は、政策が間違っていようが、不正があろうが、いわれるがままに言われたことをやるしかなくなります。今回の議会ですべてを判断するわけには行きませんが、前途多難を感じています。

それでも市長、議員、職員の良心を信じつつ、吹田新選会は真っ直ぐに活動していきます。



Sohei Kamiya

神谷 宗幣
カミヤ ソウヘイ

役職：吹田市議会副議長・建設委員会委員

ごあいさつ

副議長に就任し、初めての議会となりました。まだ、たった3ヶ月ですが、副議長の仕事を経験させて頂く事で、議会の運営というものの全体像を掴むことができ、過去4年間で先輩方に教えて頂いてきたことが頭の中で繋がりました。わかっているつもりでも何事も経験しなければ分からないのだと、改めて教えて頂いた改選後初の議会でした。

今回の議会に出席し良かったと思えた点は、同じチームで活動する5人の議員の他の4人の質問を聞かせていただいた、その内容がどれも充実していたことです。初めての議会質問のメンバーも多かった中、単なる地域要望や一部の支援者の要望ではなく、大きな視点で吹田市全

体の課題を捉え、的を射た質問をしてくれたことが、私にとっての大きな励みになりました。個人の感情や利権の代弁ではなく、公正な視点で正論を訴える議員が増えていくことで、少しずつかも知れませんが、吹田市は良くなるのだと信じています。

駆け引きの世界ですから、今後この5人のチームにも外から切り崩しがあるかもしれませんし、内部での見解の相違が生まれるかもしれません。しかし、そういったハードルにつまずかないように、二期目の議員として、会派の代表として、チームをまとめ、一緒に良い仕事をしていきたい。そんな想いを固めた二期目の議会でした。

<http://www.kamiyasohei.jp>

【連絡先】吹田市千里山西1-37-40

かみやソウヘイ事務所

TEL：090-6059-8330 FAX：06-6385-1239

Mail：info@kamiyasohei.jp



